

# 学習指導案 (国語科)

授業者  
指導教員

- 1 対象 第 2 年次 6 組 39 名  
 2 日時 平成 30 年 6 月 7 日 (木曜日) 第 6 校時 14:15~15:05  
 3 場所 2 年 6 組 教室 (B22)

## 4 単元名

評論 (二) 日本人の「自然」

## 5 単元について

### (1) 単元の目標

- ・筆者が考える西洋的な「自然」の意味と、日本における「自然」の意味の違いを理解する。
- ・対比構造を理解し、内容を的確に捉えるとともに、筆者の意見を読み取る。
- ・文章を読み、根拠を持ったうえで自分の考えを自分自身の言葉で説明する。

### (2) 教材観

日本人が失いかけている日本古来の「自然観」について、西洋的な「自然」と日本的な「自然」を対比することで、より特徴を浮かび上がらせている。また、日本における「自然」という言葉の意味はどのように移り変わってきたのかについては、『老子』や『万葉集』等といった具体例を用いて描かれており、読み取りやすい。この教材を通して、二項対立という論述の 1 つの手法を学び、さらには、今日の「自然」観のあり方について、生徒自身が自ら考えることができるようになってほしいと考える。

### (3) 生徒観

日常生活において、生徒同士の仲が良く、結束力も高いクラスである。授業内で自分の考えを積極的に発表できる生徒も少なくないが、生徒全員に考えてもらうため、指名して当てる等の工夫も必要に応じて取り入れていきたいと考える。また、積極的に授業に取り組んでもらえるよう、生徒にできるだけ発問を投げかけ、指導したい。

### (4) 指導観

2 年生になって以来、評論文を扱うのは初めてなので、評論文を読み取るうえで重要とされる知識を折り入れながら本文を読み進める必要がある。そのうえで、日本における「自然」の意味内容がどのように変遷していくかについて押さえさせ、日本語の「自然」と西洋語の「自然」を対比させることで、日本古来の「自然観」について理解させる。また、抽象的な説明が続く場面が多いため、具体例等を多く用いることで生徒の理解を深めていきたいと考えている。

## 6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本古来の「自然観」について関心をもっている。</li> <li>・自分の考えを積極的に発表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が考える日本古来の「自然観」を西洋的な「自然」と対比を行うことで読み取り、発表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中から要点となる部分を的確に捉え、筆者が考える「日本の自然」について自分の言葉で表現している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張から文章の要点を把握している。</li> <li>・日本における「自然」の意味の変遷を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中に用いられている語句の意味を的確に捉えることができる。</li> <li>・二項対立について理解している。</li> </ul>

7 単元の指導計画（単元目標を達成するための指導計画を示す。）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価の観点)
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然」という言葉からイメージするものを考えて、クラス全体で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に自由な発想で書くように伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由な発想で、自分の考えを発表しているか。(国語への関心・意欲・態度)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一段落の内容を読解する。(形式段落①、②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の私たちは、「自然」という言葉を西洋語の自然と同じ意味に理解し、名詞的に用いていることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の私たちが自然を名詞的に用いていることについて、筆者が問題意識を抱いていることを読み取れているか。(読む能力)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二段落の内容を読解する。(形式段落③～⑤まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然」という言葉の意味の変遷について理解させる。(『万葉集』まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や中国における「自然」という言葉の本来の意味を、理解しているか。(読む能力)</li> </ul>
二	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二段落・第三段落の内容を読解する。(形式段落⑥～⑨)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然」という言葉の意味の移り変わりや、日本語と西洋語の「自然」の意味の本質的な違いを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語・中国語における「自然」の本来の意味と西洋語の意味とは相違していることを把握しているか。(話す・聞く能力)</li> </ul>
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三段落を読解する。(形式段落⑩～⑫)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の自然と西洋語の「自然」の意味の違いを読み取らせる。</li> </ul>
三	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第四段落を読解する。(形式段落⑬、⑭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庭園にも現れている西洋の自然と日本の自然の差異について読み取り、考えを深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張を理解したうえで、自分自身の考えを深められているか。(書く能力)</li> </ul>

※●が本時。

8 本時案（第三次第4時）

(1) 本時の目標

- ・日本の庭園と西洋の庭園の違いに目を向け、そこから明らかとなる日本の自然と西洋の自然の違いについて読み取る。
- ・筆者が考える「日本の自然」について、自分自身の言葉で説明する。

(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価 (評価の観点)
7	<b>【導入】</b> ・あいさつ ・前時の内容を確認する。	・前時では、日本の「自然」の本来の意味と、西洋語の「自然」の意味が本質的に異なっていることについて、読み取ってきたことを確認する。	・日本の「自然」の本来の意味と西洋の「自然」の意味が、相違していることに気づけているか。 (読む能力)
5	<b>【展開】</b> ・形式段落⑬、⑭を音読する。	・2人の生徒を指名し、読んでもらう。	・音読の声の大きさや、速度は適切か。(読む能力) ・音読を聞き、読みを把握しているか。(話す・聞く能力)
3	・語句の意味を確認する。	・形式段落⑬、⑭にでてくる分かりにくい語句について説明する。(幾何学図形・極致・写實的・表意的・鋭敏・契機等)	・難しい語句の意味を確認しているか。 (言語についての知識・理解・技能)
10	・西洋の庭園と日本の庭園の違いについて考える。	・フランス式庭園や、イギリス式庭園、日本の庭園のそれぞれの特徴を把握させる。	・本文に書かれている内容を、読み取れるか(読む能力)。
10	・イギリス式庭園と日本の庭園の違いについて考える。	・イギリス式庭園 …自然に対して写實的。 日本の庭園 …自然に対して表意的。 →これらを理解させる。 (西洋の庭の例: スタッドリー王立公園、日本の庭の例: 銀閣寺の庭園の画像を用いて説明する。)	・2種類の庭園の違いについて理解しているか。(読む能力)
10	・日本の自然について考える。	・西洋の自然と日本の自然についてそれぞれの説明をする。	・庭園の例から、西洋の自然と日本の自然の違いについて読み取れているか。(読む能力)
5	<b>【まとめ】</b> ・筆者が考える「日本の自然」とはどのようなものか考え、ワークシートに記入する。  ・あいさつ	・西洋の自然と対比しながら考えるよう指示する。	・自分自身の言葉で表現しているか。 (書く能力、話す・聞く能力)

第四段 落 (13) (14)

〈日本の庭園〉

・狭小空間に象徴的に天地山水を配する技法が重んじられ、自然の真意をそのままに表した庭が最高とされている。

↓ 自然に対して表意的。

・鑑賞能力を有する少数の人だけのための私的・閉鎖的な芸術作品。



〈日本の自然〉

「自然」を感じ取る自己の心の動きを、張りつめた集中性と一切の束縛を離れたありのままの自在性において感じ取っているという事態、あるいはそのような事態を出現させる契機となっている事物。

〈西洋の庭園〉

・フランス式庭園：左右対称の幾何学的図形を基本とする人工的装飾の趣が強い。

・イギリス式庭園：できる限り人工を排して自然の風景そのままの再現を目的としている。

↓ 自然に対して写真的。

・不特定多数の人々のために手軽な代理的自然を提供する公園。



〈西洋の自然〉

誰にとっても様に自然であり、人間一般に対しての外的実在。